

テレビ・ゲーム・パソコンを消して
読書する共同行動2009

いっしょに やろうよ、 できること!

共同行動2009 | 報 | 告 | 書 |

岩手県幼小中高大専ESD円卓会議

A Round Table on Education for Sustainable Development by All Education Institutions in Iwate

- 岩手県国公立幼稚園協議会
- (社)岩手県私立幼稚園連合会
- 岩手県小学校長会
- 岩手県中学校長会
- 岩手県高等学校長協会
- (社)岩手県私学協会
- いわて高等教育コンソーシアム
- (社)岩手県専修学校各種学校連合会

目次

- (1)共同行動2009の趣旨・目標
- (2)共同行動2009の結果・評価
- (3)共同行動2009の課題と共同行動2010に向けて

本報告書は、共同行動2009の趣旨や成果などを広く伝え、ご理解を深めていただくことで、来年の共同行動2010へのご参加に役立ててもらうことを目的として作成されました。



(1) 共同行動2009の趣旨・目標

趣 旨

2009年1月9日開催の「第1回岩手県幼小中高大専ESD円卓会議」で、「テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動2009」の実施が合意されました。



第1回ESD円卓会議(2009年1月9日)



岩手大学の「環境ウィーク」のぼり

この共同行動2009は、地球温暖化防止の啓発と教育の連携を目的に、岩手県の幼稚園から小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校が、全県的に「環境ウィーク」(2009年5月30日～6月5日)を設定し、テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する活動です。園・学校がいっしょに取り組み、その成果をCO₂(二酸化炭素)削減量として総計します。テーマの環境にちなんで、「環境に関する参考図書リスト」の作成にも取り組み、ホームページに掲載しました(<http://esd.iwate-u.ac.jp/entaku/book.html>)。PTA・保護者にも理解と協力をお願いするとともに、市民や行政、諸団体にも支援を呼びかけました。

今回の共同行動は、1) 幼稚園から大学まで校種・公私立を越えた共同の取組であること、2) 地球温暖化防止と読書をリンクしたことなど、全国的にも例のない「環境王国いわて」に相応しい活動となりました。

立木約30本相当

【目 標】

児童・生徒・学生5万人×1時間×[CO₂]0.04kg≒[CO₂削減約2トン]

(注)①「登録」は、クラスや園・学校単位を基本として、参加した「人数」と「時間」を期間中に代表者がホームページに登録していただきました。CO₂削減量の総計は自動計算されます。

②「人数」は、行動をした児童・生徒・学生の実数としました。1人が期間中に複数回取り組んでも、「人数」は1人としました。

③「時間」は、「普段であればつけているテレビ・ゲーム・パソコンを消した時間」としました。この時間をできるだけ読書推進の取り組みとリンクしました(読書以外の行動でも可としました)。期間中に取り組んだ時間をクラスや園・学校単位で合計しました。



(2) 共同行動2009の結果と評価

結 果

共同行動の結果、164の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学で2万人を超える児童・生徒・学生が参加し、CO₂削減目標の2トン(立木約30本相当)を大きく上回る約5.9トンの削減が達成できました。学校別の取り組みの成果は、岩手県幼小中高大専ESD円卓会議のホームページに掲載されています。

(<http://esd.iwate-u.ac.jp/entaku/co2.html>)

また、推薦された「環境の本」をまとめた「環境に関する参考図書リスト2009」もホームページに掲載されています。(http://esd.iwate-u.ac.jp/entaku/book.html)

この共同活動2009の実施結果は、2009年7月4日に開催された「第2回岩手県幼小中高大専ESD円卓会議」で報告されました。

	園・校数	参加人数	時間	CO ₂ 削減
幼稚園	61	3,164	19,894	795.8kg
小学校	50	5,553	24,721	988.8kg
中学校	21	4,480	31,872	1,274.9kg
高等学校	26	9,192	68,980	2,759.2kg
特別支援学校	3	78	298	11.9kg
大学	3	251	2,145	85.8kg
合計	164	22,718	147,910	5,916.4kg

表 「テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動2009」実施結果

評価

共同行動2009の実施に関するアンケートの結果(回答数49、回答率37%)、「やって大変良かった」、「やっておおむね良かった」をあわせると82.6%になりました。共同行動に多くの園・学校が肯定的な評価をしていることがわかりました。

●総括的な評価

やって大変良かった	16.3%
やっておおむね良かった	66.3%
やって少し問題を感じた	10.2%
やって問題を感じた	0.0%
その他	4.2%

●実施結果の満足度

満足ゆく結果だった	14.3%
おおむね満足ゆく結果だった	59.2%
少し不満の残る結果だった	22.4%
不満の残る結果だった	2.0%
その他	4.1%

同じく、共同行動に対する満足度も高かったことがうかがえます。

寄せられたコメントにも、共同行動への肯定的な評価と満足度の高さが表れていました。

寄せられたコメント

- 「この参加を機会に絵本と向き合う時間が増えたという嬉しい感想をいただきました。環境について子どもたちと意識して考えるようになりました。」(幼稚園)
- 「自分にできること、家庭でできることが具体的に体験できたことがよかったです。温暖化とかには大きな関心を持っていると感じました。」(幼稚園)
- 「児童会を中心に取り組んでいます。全校で取り組むことで、集中して読書や学習に取り組むことの大切さや環境問題について意識を向けることができます。」(小学校)
- 「学年の発達段階に関係なく、全員が参加できました。テレビを消す行為が有益であることに気がきました。たくさんの人々が参加していたことで気持ちのつながりを感じられました。環境への関心が高くなっていることが実感できました。」(小学校)
- 「テレビやゲームを我慢するのが大変だった生徒がいた一方、読書の楽しさに気づく生徒も多く見られました。」(中学校)
- 「読書の習慣化、TV・ゲーム・パソコンなどの抑止につながりました。」(中学校)
- 「全校生徒、学校教職員、教育実習生を含む全員で取り組みました。この取り組みをきっかけに、生徒達が少しでも地球に優しい行動ができるように、引き続き指導していきたいと思います。」(中学校)
- 「生徒会執行部と環境委員会が中心となり全校で取り組みました。今回の活動で皆で取り組むことのすばらしさを実感しました。」(高等学校)
- 「動機づけとして有意義であったと考えます。読書に結びつけたことも良いアイデアでした。」(高等学校)

保護者、児童会、PTA、地区全体の協力や支援があったこともわかりました。

- 「保護者がかなり意識して取り組んでくれたので予想以上の結果が出ました。『食事中テレビを消す』という他の面にも利点がみられました。」(幼稚園)
- 「教育振興運動と連携して地区全体で呼びかけて実施しました。保護者や祖父母と一緒に読んだ子がたくさんいます。」(小学校)



(3) 共同行動2009の課題と共同行動2010に向けて

課 題

アンケート調査のコメントでは課題・問題点の指摘もありました。「ゲーム・TVが生徒の生活の中に密着しており、それらをがまんするのが難しい。」(中学校)、「取り組みに担任の意識の高低(温度差)がそのまま結果として表れていた。生徒以前に教員に意義をわかってもらう(得心してもらう)必要ありと感じた。」(高等学校)というコメントもありました。

また、共同行動2009の趣旨である「CO₂削減と読書を組み合わせる」ことに対して、わかりにくいと感じている指摘や、「結果として調査方法と基準があいまい」という指摘もありました。しかし、恒例にして定着させることに多くの賛同が得られました。

●CO₂削減と読書を組み合わせる趣旨の理解度

わかりやすかった	14.3%
おおむねわかりやすかった	46.9%
少しわかりにくかった	30.6%
むずかしかった	8.2%
その他	2.0%

●この取り組みの今後について(複数回答)

毎年恒例にして定着を図るのがよい	49.0%
定着化のために1年間に2~3回取り組む	26.5%
実施方法を改善して取り組んだ方がよい	32.7%
保護者や地域などと連携を強めた方がよい	16.3%
教育委員会との連携を強めた方がよい	8.2%
その他	4.1%

共同行動2010に向けて

共同行動2009は、地球温暖化防止と読書を結びつけ、幼稚園から大学まで校種・公私立を越えた共同の活動として全国的にも例のないものです。

164校園の児童・生徒・学生2万人以上が参加して、約5.9トンのCO₂を削減できました。保護者、児童会、PTA、地区全体など多くの方々のご支援・ご協力も得ました。環境問題への理解を深め、読書の重要性や共同して何かを成し遂げることの重要性を実感する活動として続けていく必要があります。

今回は、当初の目標であった5万人の参加は実現できませんでした。また、初めての取り組みということもあって、「CO₂削減と読書を組み合わせる趣旨」や実施方法をもう少しいねいに伝える必要があることも分かりました。

こうした課題・問題点を改善しながら、共同行動2010に向けて準備していきます。2010年の数値目標は、2010年1月8日開催の第3回岩手県幼小中高大専ESD円卓会談の場で決定されます。

立木約 本相当

【 共同行動2010の目標 】

校園の児童・生徒・学生 万人によるCO₂削減 トン

共同行動2010は、家庭・保護者、PTA、児童会、地区全体に加え、市民や行政、温暖化防止いわて県民会議、教育委員会、経済団体、マスコミなど諸団体にも理解と協力を呼びかけて、児童・生徒・学生の環境と読書意識の向上を目指します。

一つでも多くの幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、専門学校の参加を心から呼びかけます。

青森県

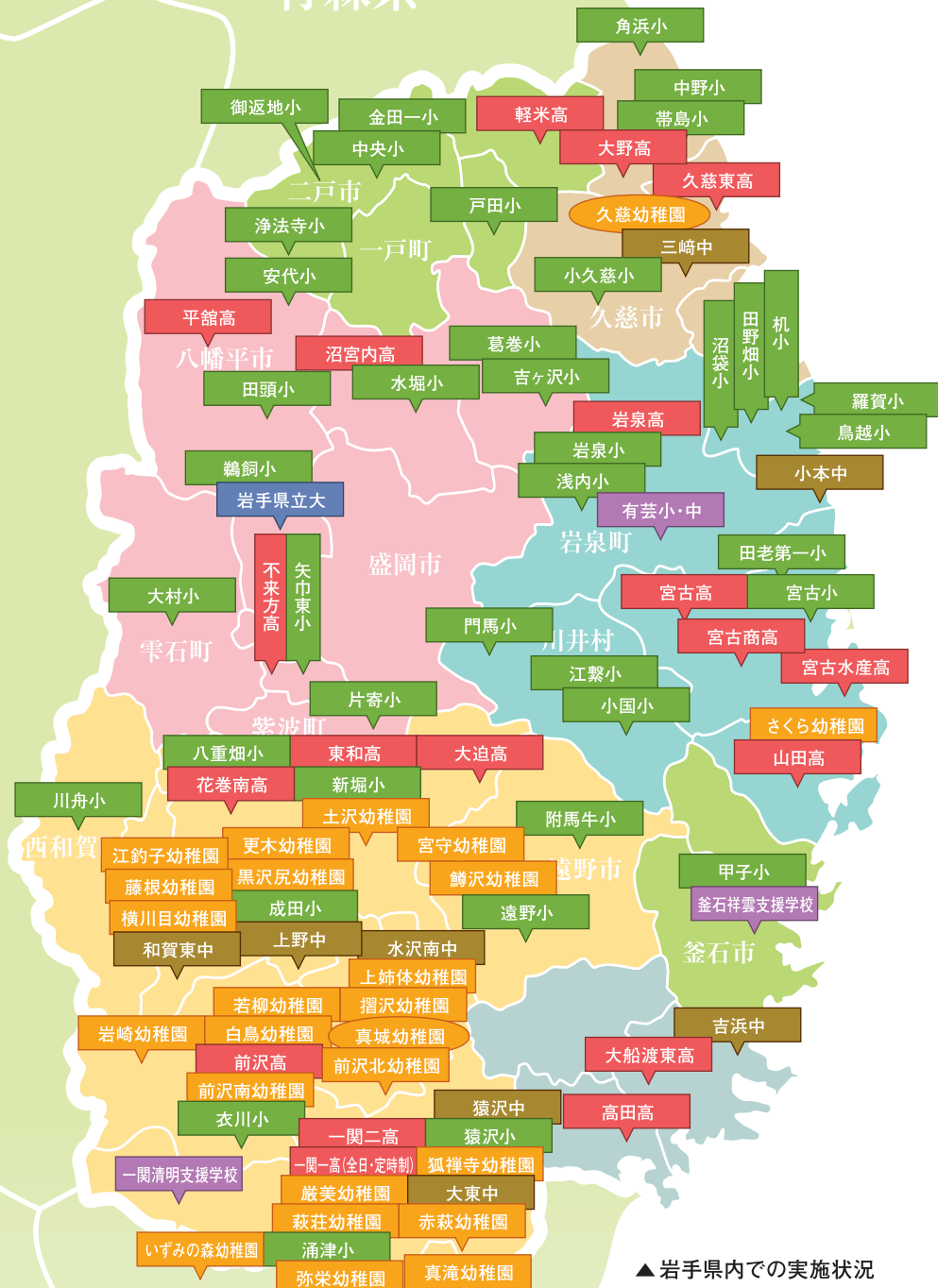
秋田県

宮城県

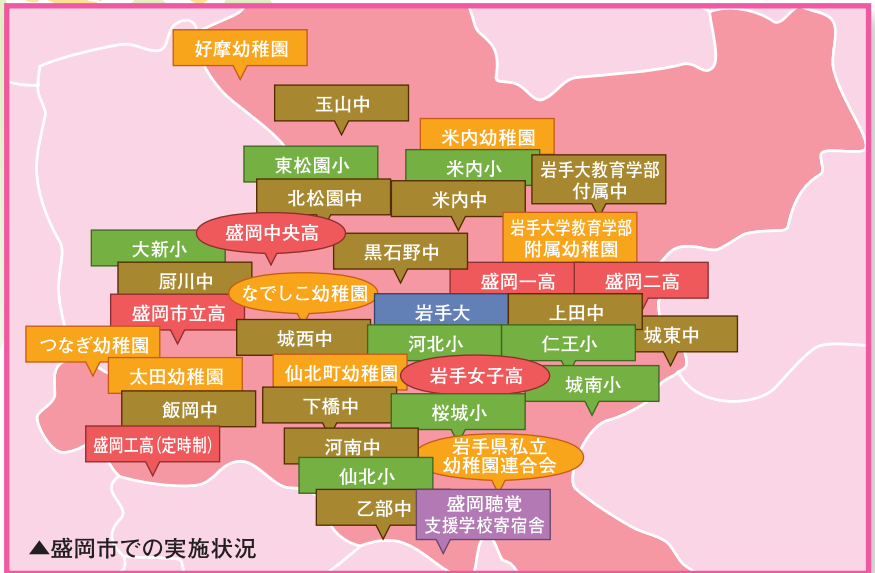
大阪工業大

※友情参加

**共同行動
2009
参加園校**



- 幼稚園
- 小学校
- 中学校
- 高校
- 大学
- その他
- 国公立
- 私立





「いっしょにやろうよ、できること！」ショートレポート

4つの園校から、共同行動2009に取り組んだショートレポートを頂きました

●北上市立藤根幼稚園 43人 397時間



本園では環境ウィークに行われた取り組みに、72%の保護者が参加しました。「電気を消して読書する」という取り組みはどのような受け止め方をされるのか気がかりな部分もありましたが、「絵本を探しに初めて図書館に出かけました」「子供と一緒に色々な絵本に触れ、以前より絵本と向き合う時間が増えました」と、嬉しい感想をいただきました。この取り組みを通して、親子の触れ合いの時間が増えたこと、絵本の世界

が広がったこと、そして地球温暖化や環境について子供たちと考えるようになったことがあげられます。秋は園の取り組みとして、家庭から生ゴミを集めて「元気な土作り」をしました。捨ててしまう物が意識することで別の形で活かされていくことを体験しました。

小さな取り組みですが、「地球が喜んでいるね」とつぶやく子供たちをみると、環境ウィークに参加したことは環境を考えるいい機会になったと思います。



●奥州市立衣川小学校 142人 1,412時間

共同行動2009が提案された時、本校は、ちょうど学期一度の「家庭学習強化期間」の取り組みを計画していました。昨年度の課題を踏まえ、今年は「学年の目標時間、テレビを消して学習する」ことをめあてに全校児童が取り組む予定だったのです。まさに同一の実施方法でしたので、いつもの点検カードに「普段ならやっているテレビ・ゲーム等を消したりやらなかったりした時間」を書き込む欄を設けました。

折しも、地区懇談会の開催時期でしたので、各家庭での取り組み状況について保護者から話を聞くことができました。「テレビを消して学習させるのはとても意義深いこと。じいさんも見たいプロ野球を我慢してくれて、家の中に静かな時間が生まれた。」「入学したばかりなのに、勉強することがやたらと楽しそうに驚いている。妹に本を読んであげている姿に成長を感じ

た。」「漫画が多いので困っている。図鑑はよく見るようだ。心に響くような本を読んでほしいと思っている。」「図書館から借りてきた本は半分しか読まずに返してしまっているようだ。それで、本屋に一緒に行ったら、読むようになった。」「家族でテレビをあきらめると、子供もあきらめて勉強している。テレビを消す取り組みは効果がある。」という声。行動は単純でも、この取り組みの効果は絶大でした。

今年も学習発表会では、4年生が森林環境を、5年生がゴミ問題を取りあげて劇を上演します。点を線に、線を面につなげていく取り組みを大切に、平泉文化を生んだ父祖の地である衣川に育つ子供たちが、叡智と勇気を持って、「持続可能な未来」を自ら創造する大人に成長するよう、学校の努力を継続しなければならないと再認識できた取り組みでした。



●一関市立大東中学校 174人 1,234時間

今回の共同行動は、本校のリサイクル委員会が中心となり取り組みました。取り組み内容としては、リサイクル委員会からの呼びかけ、ポスター掲示、毎日の節電時間の記入、集計表作成などで、各学級担任も短学活などで環境問題を話題に取り上げました。また、図書委員会では、この取り組み期間に、環境問題に関する図書の紹介コーナーを設け読書を勧めるなど、リサイクル委員会とタイアップした活動を行いました。

生徒たちは、テレビ視聴やゲーム・パソコンを控えるだけでなく、読書を通じて環境問題について理解を深め、危機感を持ち、今後もこのような取り組みを継続的に行っていく必要があると感じたようです。

4月のPTA総会の場でも、この共同行動について説明し、事前に各家庭の協力をお願いしました。生徒・教職員・家庭が一体となって取り組み、成果を上げることができたと思います。



●岩手県立宮古高等学校 641人 5,436時間

5月30日～6月5日の1週間全校生徒で取り組みました。生徒たちには「図書館だより」でこの期間中に、テレビなどを消した時間と読んだ本についてカードに記入する、この機会に1度も本校図書館を利用していない生徒は必ず利用して図書を借りる、読書が地球温暖化防止になる素晴らしくエコな取り組みであることを強調し連絡しました。

9割の生徒がカードを提出。テレビ・ゲームをやめた生徒が

多く、削減時間は5,436時間、1人平均8.5時間と大いに貢献する結果となりました。読書については1週間に4冊という生徒がいたものの、全体的には取り組んだ生徒は192名と少ないものでした。CO₂削減への関心は高かったものの、読書への意識は低かったと言えます。

次の機会には、取り組みの趣旨をもっと徹底し、地球環境を考えることと同時に、読書への意識を高められるように工夫し、指導していきたいと考えています。